

「グローバル社会における多元文化学の構築」2015年度活動報告  
(2015年4月1日～2016年3月31日)

グローバル社会における多元文化学の構築

2015年6月20日(土)

【共催】シンポジウム「私にとってのアメリカ音楽」

報告者：ニコラス・O・ユングハイム(早稲田大学教)

題目：「バンジョーと私のアメリカ音楽」

報告者：「ジェイムス・M・バーダマン(早稲田大学文学学術院教授)

題目：「白人と黒人の音楽」

報告者：村田薫(早稲田大学文学学術院教授)

題目：「ブルース音楽との出会い」

司会：大稔哲塩(早稲田大学文学学術院教授)

2015年10月31日(土)

【共催】講演会

講演者：渡辺美季(東京大学総合文化研究科准教授)

題目：「近世琉球の自意識と中国・日本」

2015年11月24日(火)

【共催】秋学期特別講演会

講師：[演出家] 高橋正徳 [俳優] 小林勝也 中村彰男 沢田冬樹 櫻井章喜 石橋徹郎  
川辺邦弘 上川路啓志 藤側宏大 采澤靖起 鈴木亜希子(以上、文学座)

題目：「詳説『白鯨』を舞台化する」

司会 [翻訳者] 小田島恒志(早稲田大学文学学術院教授)

2015年12月19日(土)～20日(日)

【共催】国際シンポジウム「東アジア文化交流－妖異・怪異・変異－」

12月19日(土)

《基調講演》

小松和彦「自然災害と怪異伝承－「蛇抜け」伝説の考察－」

《パネルディスカッション》 司会 吉原浩人

増子和男「魑怪異譚考－日中比較の立場から－」

小峰和明「ものがモノになるとき－東アジアの怪異をめぐる－」

徳田和夫「妖怪・モンスターと〈鏡〉」

陳小法「妖魔化した関白－明清文人の豊臣秀吉観－」

魯成煥「越境する日本の妖怪－韓国の九尾狐と日本の雪女－」

12月20日

《研究発表1 / 青年論壇》 司会：河野貴美子

肱黒正子「キャラクター論から見る現代の妖怪－ポケモンは妖怪か－」

崔鵬偉「節分の百鬼夜行－室町時代の文献を中心に－」

石津亜美「江の島弁才天と龍口明神－教化される龍と教化する龍－」

荒川聡美「善悪報譚」という方法－『日本靈異記』の説話をめぐって－

関千亜紀「再生譚に表れる日本と中国の魂と肉体観」

《研究発表2 / 一般発表》 司会：陳小法

朴淳希「韓国の茶神になった中国の妖怪」

城崎陽子「歌聖の創造と祭祀－柿本人麿を事例として－

岡部明日香「日本における楊貴妃怪異説－台北故宫博物院本『歌行詩』「長恨歌」書き込みから考察－」

《研究発表3 / 一般発表》 司会：魯成煥

柳川響「「変化」考－『古今著聞集』の天狗詠歌譚をめぐって－」

田村航「一条兼良と「鬼」」

洪明嬉「金東里『巫女図』と芥川龍之介『おぎん』における習俗とキリスト教との葛藤－韓日の信仰観・家族観比較を視点として－」

小松麻美「韓国の絵本にみる“トッケビ”のイメージ描写と翻訳をてがかりに－